1　1枚目

工事設計書		
1　無線局の区別	（　　局分）	
2　装置の区別	番号	第　　装置
	予備送信装置	□有
3　通信方式コード		
4　通信路数		
5　送信機	発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	
	定格出力（W）	
	送信出力制御量	
	低下させる方法コード	
	低下後の出力（W）	
	変調方式コード	
	クロック周波数（Hz）	
	エネルギー拡散周波数偏移量（Hzp-p）	
	最大電力密度（dBW/Hz）	
	最大等価等方輻射電力（dBW）	
	型式又は名称	
	適合表示無線設備の番号	
	製造番号	
6　受信機	区別	□送信機と同じ
	等価雑音帯域幅	
	低雑音増幅器　利得（dBi）	
	低雑音増幅器　雑音温度（K）	
	通過帯域幅	
	雑音温度（K）	
7　予備電源		□有　□無
8　設置場所番号		

長辺　　短辺　　（日本工業規格A列4番）

1　1枚目

工事設計書

1　無線局の区別	（　　局分）	※　整理番号	

2　装置の区別		3　通信方式コード	5　送信機														6　受信機				7　予備電源
番号	予備送信装置		発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	定格出力（W）	送信出力制御量	低下させる方法コード	低下後の出力（W）	変調方式コード	クロック周波数（Hz）	エネルギー拡散周波数偏移量（Hzp-p）	最大電力密度（dBW/Hz）	最大等価等方輻射電力（dBW）	型式又は名称	技術基準適合証明番号	製造番号	等価雑音帯域幅	低雑音増幅器 利得（dBi）	低雑音増幅器 雑音温度（K）	通過帯域幅	雑音温度（K）	□有 □無
第　装置	□ 現用装置の番号	4　通信路数																			8　設置場所

9　空中線系番号	10　空中線																		11　給電線等				12　発射する周波数等	13　受信する周波数	14　交差偏波識別度（dB）	
	空中線型式等				海抜高（m）	地上高（m）	利得（dBi）		口径（m）	電力半値ビーム幅（度）	偏波面コード	給電線損失		共用器損失		その他損失										
	送受の別コード	基本コード	付加コード	偏波面コード			送信	受信				送信（dB）	受信（dB）	送信（dB）	受信（dB）	送信（dB）	受信（dB）									
（　　）																										
（　　）																										
（　　）																										

雑音温度（K）	雑音指数（dB）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）	雑音温度（K）

15　空中線系に関するその他の事項

□　構成が複雑なため記載が困難であり、構成は添付図面のとおりである。

16　附属装置				18　人工衛星局又は宇宙局の電波発射停止装置の制御装置	
コード	台数	方式・規格等	補足事項	□ 有 □ 無	方式及び信号の構成
				19　インターロック機能	20　自動停波機能
				□ 有　□ 無	□ 有　□ 無
				21　その他の工事設計	22　添付図面
				□　法第3章に規定する条件に合致する。	□ 無線設備系統図　□ 機器配置図 □ 電源系統図 □ ブロッキングチャート

17　共通予備装置			
種類及び型式又は名称	製造番号	共通に使用する航空機地球局の識別信号（航空機局名）	補足事項

23　備考

短辺　　長辺　　（日本工業規格A列4番）